

大總督宮様御目見有之趣
 二付、暫時御控可被成旨申、被引候
 過て参謀忠接方池田庄三郎と申御人
 罷出 宮様御目見ニ付御案内
 大奥御上段御正面
 大總督宮様、左右 三條大納言様敷
 居際ニ御着座、装束
 御下段え 此方様
 座光寺様
 大久保様
 勝田様
 右御列座
 御同間前参謀之面々左右ニ並
 宮様より孰も始てと之御意下ル、左右之
 御方様より自今
 朝臣可為旨御達ニ付、弥忠勤

自今
 朝臣被
 仰付候、此段相達候事

五月九日
 右御書付御下ケ
 宮様御引相成、御銘々様元之
 御席之御下り、参謀より御内差図
 ニ付、又候手札御差出御礼被
 仰上、御退出之上、御三人共御揃当
 總督様之御礼被 仰上候
 殿様、座光寺様・大久保様之御挨
 拶ニ御出、御序ニ安池様・篠原氏之も

被成ませと御申渡し御書付下ル、左ニ
 自今
 朝臣被
 仰付候、此段相達候事

一 御吹聴ニ御立寄
 一 總督様之折詰御献上
 一 代官察之武重壺升
 一 諸藩応接方之同断
 一 御衣帶方同断
 一 大地方之重壺組三升
 一 安池新八郎様之重同武升
 一 御旗奉行・斥候方共七人之重詰
 一 壺組老升
 一 御近習八人同断
 一 御登 城之節加藩より御侍式人
 一 御履、御祝義金百足ツ、出ス、御鐘持
 一 老人同御履、金式朱遣ス
 一 總督様御馬拝借、別当之金式分
 一 御酒壺升・一重添御家来下々迄
 一 被下
 一 座光寺様御出
 一 遺ス

一 御酒壺升・一重添御家来下々迄
 一 被下
 一 座光寺様御出
 一 遺ス

十日戌雨
 一 大地方館林藩不殘御礼ニ入来
 一 玄正院板橋行
 一 十一日亥雨
 一 盈太郎様御出
 一 總督様之
 殿様御道同ニて御拝謁被遊候、昼

頃迄御遊被成候

一 岡田様御家来横藏喜曾治殿
入来、明朝用人柴山儀太郎美濃
表之此頃之御書付持参罷登り候ニ付
御書状ニても被遣候ハ、御届可申旨被申聞候
間、此方様此間之御達之趣申遣
され候ニ付、老封御頼遣ス、明日出立之よし
座光寺様御出、拝謁
殿様御同伴被遊候

十二日子大雨

一 座光寺様御出、昨日御同様拝
謁被遊候
昨夜あひる御料理、安池鉄次郎様
志水氏・平田氏

十三日丑大雨

一 総督様御入
城ニ相成ル、監物様御供御出

十四日寅雨

一 昼後より上野・品川両所ニて
戦争始候趣

十五日卯雨

一 当賀申上候
今夜明方より上野戦出火、御
模様次第御出張之積り支度

頃迄御遊被成候

一 岡田様御家来横藏喜曾治殿
入来、明朝用人柴山儀太郎美濃
表之此頃之御書付持参罷登り候ニ付
御書状ニても被遣候ハ、御届可申旨被申聞候
間、此方様此間之御達之趣申遣
され候ニ付、老封御頼遣ス、明日出立之よし
座光寺様御出、拝謁
殿様御同伴被遊候

十二日子大雨

一 座光寺様御出、昨日御同様拝
謁被遊候
昨夜あひる御料理、安池鉄次郎様
志水氏・平田氏

十三日丑大雨

一 総督様御入
城ニ相成ル、監物様御供御出

十四日寅雨

一 昼後より上野・品川両所ニて
戦争始候趣

十五日卯雨

一 当賀申上候
今夜明方より上野戦出火、御
模様次第御出張之積り支度

出来待受ニ
 上野戦争之節左之通り
 大川橋 紀州人数 百人
 千住 因州人数 百人
 沼田 肥後人数 五拾人
 川口 大久保与七郎人数 五拾人
 戸田 備前人数 五拾人
 古河 芸州人数 五拾人
 忍 ツ、

出来待受ニ
 上野戦争之節左之通り
 大川橋 紀州人数 百人
 千住 因州人数 百人
 沼田 肥後人数 五拾人
 川口 大久保与七郎人数 五拾人
 戸田 備前人数 五拾人
 古河 芸州人数 五拾人
 忍 ツ、

王子邊
 湯島 因州人数 百人
 肥後人数 五拾人
 薩州人数 百人
 伊州人数 百人
 本郷ヨリ 筑後人数 五拾人
 大村人数 五拾人
 長州人数 百人
 佐土原人数 八拾人
 肥前人数 百人

王子邊
 湯島 因州人数 百人
 肥後人数 五拾人
 薩州人数 百人
 伊州人数 百人
 本郷ヨリ 筑後人数 五拾人
 大村人数 五拾人
 長州人数 百人
 佐土原人数 八拾人
 肥前人数 百人

一 富山屋敷前

四斤半 筑前
六斤 肥前
アルムスロシ
ヘイリケン 二挺
佛郎礼 二挺
オート隊

一 水府邸

四斤半 佐土原
四砲 三挺 備前
同 壹挺 佐土原
同 二挺 伊州

一 ツ橋門より
水留橋

阿州

一 富山屋敷前

四斤半 筑前
六斤 肥前
アルムスロシ
ヘイリケン 二挺
仏郎礼 二挺
オート隊

一 水府邸

四斤半 佐土原
旧砲 三挺 備前
同 壹挺 佐土原
同 二挺 伊州

一 ツ橋門より

水留橋 阿州

一 水留橋より

水戸邸辺

尾州百人

一 本郷聖堂

近辺

新発田
百人

一 森州宿

追分辺

備前
百人

一 川越

筑州五拾人

右之御手配ニテ、夜明方より戦争
相成、巳之半刻注進牛角之戦之
趣、九ツ過より賊徒引足相成、八ツ過頃

賊軍大敗軍、上野近辺町方今
朝より放火、七ツ時本堂・中堂火手上ル
其外堂々坊々之火懸り官軍大勝
利之趣追々注進、夕方因州
様人数大炮十式挺・葵紋附旗・徳川
臣と認在旗・玉葉夥敷・其外品々
分取、御屋敷之引入ル、薩長始藩々
分取夥敷よし、いまた打取人数相分り
不申候、荒増誌ス

一 殿様・座光寺様御同伴にて御登
城朝五ツ半時、九ツ過御下り
一 因州隊長川田策馬と申人之上野
黒門外辺にて古き単物ハハリ居切懸り候ニ付、既ニ
あやうき処、鎗にてノンド脇ヲ突生捕来ル、年齢

廿一歳計、旧旗本二男之よし申候、四ツ過頃
御城之連行

十六日辰晴

一 殿様・座光寺様御同道御登
城被遊候、九ツ過御退出
一 昨日之打洩レ浅草辺坂本ニ屯集之
趣ニ付、因州始人数出ル

十七日巳少し雨

一 殿様御登
城被遊候、御供佐一郎

一 昼後軍少少停し、元正院・佐一郎
佐平・座光寺様斥候ニ同道いたし
上野戦争之場跡改行、打死武百人
程いまた其儘打捨、因州公人数跡
調中、寺々諸道具山内散乱有之
根津権現辺斥候いたし帰ル
一 築地多賀上総介屋敷ニ賊兵屯居候由
ニ付、肥前人数取箇炮声致ス、賊逃去り
器械取上来よし
十八日午曇り

一 殿様御登
城被遊候、御供高崎浜之助
今日も
大総督様御人数・此方
總督様附因州人数、所々え手分ケいたし
賊兵探索有之候

十九日未昨夜より大風雨
一 昼後座光寺様御出、長屋住居
御迷惑ニ付、御殿之内拝借仕度旨
御内談御出

廿日申昨夜より大風雨、昼後晴
一 三海道
先鋒總督様御座相成候、仍て諸藩
御城之御呼寄、右御達し有之
一 元正院・弘衛芝辺行、元正院
刀求来ル
一 殿様御登 城
總督様御逢之上、東山道

總督御免之趣御達有之

廿一日酉曇り

一昨夜座光寺様御出、今般東山道
總督御座シ相成候上は、私共儀も最早
御用相済候儀ニ付、御帰陣願之儀御相談
有之

廿二日戌曇り、雨

一岩倉様御儀、昨夜奥羽
總督被為蒙
仰候趣承り候、尤夕刻御触在之

總督御免之趣御達有之

廿一日酉曇り

一昨夜座光寺様御出、今般東山道
總督御座シ相成候上は、私共儀も最早
御用相済候儀ニ付、御帰陣願之儀御相談
有之

一昼後座光寺様御出、御嘶、昨夜御相
談相願候処、引取家来共ト相談仕候処
兵隊差置、私忝人病氣ニても申立
帰陣相願候心得之趣、御嘶有之

廿二日戌曇り、雨

一岩倉様御儀、昨夜奥羽
總督被為蒙

仰候趣承り候、尤夕刻御触在之

廿三日亥晴

殿様御登

城、右は昨日御登

城、下参謀池田庄三郎殿之

知行所水災就ては送金無覺束

仍て難渋之御願被成候処、同人被申候ニは

御願立之趣御書取御差出被成候様

談ニ付、今日願書御持参左ニ

乍恐奉歎願候、口上之覚

美濃国各務郡

前渡村住居

高六百石

坪内嘉兵衛

一 私家筋之儀は、徳川三代
將軍之節、美濃國知行所仕居仕度
旨相願、只今ニ至迄代々在住居仕候、然処
今般
王政御一新、且は賊慶喜御追討
として東山道
先鋒總督府御下向ニ付、身不省之私え
御附屬被 仰付、難有仕合奉存
御供奉仕候処、右之廉合を以自今
朝臣被
仰付、冥加至極難有仕合奉存候、將私シ
知行所儀は去丑年洪水ニて木曾川
堤切入、知行所過半流亡ニ相成、今以耕
作方不熟ニて上下費弊ニ及候処、当春來
化月不熟ニて上下費弊、及品南

供奉仕候物人も有之、重來不如意之勝手向
ニ付、知行所より為致送金候儀之処、水災
後旁以一同難洪切迫仕居候処、先月より
大雨降り繼キ木曾川洪水、又候水災之趣
最早金子取賄方無之旨申越、甚心
配仕候、精々諭方申遣置候之共、此上送り
金之程無心元心配仕候、然ル処、入費ニ差支、報
國之勤志も空敷相成兼候儀、何共残念之
至、実々天災無難忍奉存候、就ては一先帰陣
被 仰付候ハ、難有仕合奉存候、右之
条々御汲分被下置、御執成ヲ以御憐愍
之御沙汰、不顧恐伏て奉歎願候、誠恐
謹言
辰五月

廿四日子晴
 一 元正院外出願行
 一 殿様御登
 城、昨日御差出之願面御返答御伺

廿五日丑晴
 一 弘衛義、浜町秋元但馬守様
 御留主居押田六兵衛殿参り

近江御隠居刑部太夫様御上京よし
 右は蒸気船にて御登之趣承り
 候ニ付、乗組御同船相願度段談候処、いづれ
 明日国表出立、明後日当地着之上、陸
 歟船歟之儀取極可申候間、弥々之儀
 是より可申上旨被申答、酒肴吸物等出ル
 一 彦坂善左衛門御機嫌伺来ル、序ニ此間
 上州御知行百姓清左衛門一条内願
 被参候

廿六日寅晴

廿四日子晴
 一 元正院外出願行
 一 殿様御登
 城、昨日御差出之願面御返答御伺

廿五日丑晴
 一 弘衛義、浜町秋元但馬守様
 御留主居押田六兵衛殿参り

近江御隠居刑部太夫様御上京よし
 右は蒸気船にて御登之趣承り
 候ニ付、乗組御同船相願度段談候処、いづれ
 明日国表出立、明後日当地着之上、陸
 歟船歟之儀取極可申候間、弥々之儀
 是より可申上旨被申答、酒肴吸物等出ル
 一 彦坂善左衛門御機嫌伺来ル、序ニ此間
 上州御知行百姓清左衛門一条内願
 被参候

廿六日寅晴

廿七日卯晴

一 殿様御登
城被遊候処、御暇出候ニ付、御印
鑑御願被遊候処、御渡し相成ル

廿八日辰晴

一 殿様芝日影町之御出

廿九日巳晴

廿七日卯晴

一 殿様御登

城被遊候処、御暇出候ニ付、御印
鑑御願被遊候処、御渡し相成ル

廿八日辰晴

一 当賀申上候

一 殿様芝日影町之御出

廿九日巳晴

一 岩倉様御用物守衛岡田様御府属

平松外史郎殿、外ニ岡田様御家来

柴山外四人

此方様御心添被遊候

一 殿様因州邸御出立四ツ半過

藏宿之七ツ半時御本陣之御着

彦坂善左衛門本郷金安迄御見

立被致候

晦日午晴、夕方雷雨少し

一 藏宿六ツ時御出立、桶川迄

御出之処、宿役人逃出し壱人も

居不申ニ付、道中方田村鴻

巣之早追ニて人足買上、日暮

方鴻巢之御着、御本陣

六月朔、未七ツ頃

深谷へ七ツ時御着、御泊り

御本陣

二日申晴、夕方雷

高崎宿御本陣御泊り

三日酉晴、夕方雷

横川御関所御越之節

大総督様御印鑑不出ニ濟申候
以後之引合せのため
殿様御印鑑差出ス、則受取被申候

坂本宿御本陣ニ御泊り

四日戌晴

五日亥晴

今朝塩名田川橋落居候ニ付
運台越、昨夜宿役人罷出賃
錢御渡可被成旨申候ニ付、御用物之

儀不都合之申条ニ付、平松氏より
嚴重ニ申談、領主小諸之以書
面掛合ニ成ル、宿役人より咤書出シ
川越ニ成ル
一 和田駅御本陣之七ツ時御着

六日子晴

一 和田宿明七ツ半時御出立、諏諏
宿御昼、温泉之入湯、塩尻宿七ツ半時
御着、御本陣差支ニ付、脇本陣
武井弥五左衛門之御宿陣、松本御藩
野々山様御狀被遣、弥五左衛門ニ
頼置

七日子雨

一 藪原宿之七ツ半時御着、御本陣
之御宿陣

八日子晴

一 福島御関所無滞御通、御自分
御印鑑御差出し
一 今日別当兩人共山村様之御返
岩倉様より之御狀弘衛持参
御玄関之罷出、御用人大脇
武一郎・松井八左衛門と申仁逢
御狀渡ス、甚兵衛様之御披露

儀不都合之申条ニ付、平松氏より
嚴重ニ申談、領主小諸之以書
面掛合ニ成ル、宿役人より咤書出シ
川越ニ成ル
一 和田駅御本陣之七ツ時御着

六日子晴

一 和田宿明七ツ半時御出立、諏諏
宿御昼、温泉之入湯、塩尻宿七ツ半時
御着、御本陣差支ニ付、脇本陣
武井弥五左衛門之御宿陣、松本御藩
野々山様御狀被遣、弥五左衛門ニ
頼置

七日子雨

一 藪原宿之七ツ半時御着、御本陣
之御宿陣

八日子晴

一 福島御関所無滞御通、御自分
御印鑑御差出し
一 今日別当兩人共山村様之御返
岩倉様より之御狀弘衛持参
御玄関之罷出、御用人大脇
武一郎・松井八左衛門と申仁逢
御狀渡ス、甚兵衛様之御披露

一、馬籠宿御本陣御泊り
 一、平松氏馬籠より伊飛之夕刻より
 早駕籠にて被參候
 十日辰昼後雷雨
 一、中津川宿本陣にて美信隊
 中より

九日卯曇り

一、馬籠宿御本陣御泊り
 一、平松氏馬籠より伊飛之夕刻より
 早駕籠にて被參候
 十日辰昼後雷雨
 一、中津川宿本陣にて美信隊
 中より

之上、御念入候段、嘉兵衛様之宜
 可申上旨、被申聞候
 一、須原宿御泊り、先般焼失宿
 二、付脇本陣之御泊り、平松氏は
 本陣也

九日卯曇り

一、馬籠宿御本陣御泊り
 一、平松氏馬籠より伊飛之夕刻より
 早駕籠にて被參候

十日辰昼後雷雨

一、中津川宿本陣にて美信隊
 中より

一、大湫宿御本陣御泊り
 一、大湫宿御本陣御泊り

十一日巳晴

一、大湫宿御本陣御泊り
 一、大湫宿御本陣御泊り

殿様之御酒差上ル、御挨拶として
 金三分被下ル

一、大湫宿御本陣御泊り

十一日巳晴

一、大湫宿六ツ時御出立、伏
 見宿先迄多助遠見ニ来ル
 太田宿之八ツ時御着、御本陣
 差支ニ付林市左衛門方之御宿
 陣、平松氏岡田様御用人
 柴山儀太郎より平松申付之趣ヲ

一蒲焼一重・酒壺升被差上候ニ付
 柴山始藤平・渡辺共御呼寄、御酒
 被下候、尤岡田弘之助様御同様御出被成候
 林市左衛門よりも蒲焼一重差上ル、市左衛門
 御呼出し御酒被下候
 一柴山氏より此方御次之三種と酒
 壺坪、長々御道中御世話相成候ニ付
 迎被與候
 一山科之隊長・田々隊長・力士隊長御呼
 寄、御暇乞御酒被下候
 十二日午晴
 一曉七ツ時永井長兵衛・宮川互理
 小の木宗助・山本喜一郎・田中佐兵衛
 長瀬勘六・同勘次郎・御徒士孫六
 孫助来ル、御馬來ル
 一鶴沼宿之五ツ時御着、御出入問屋

野口貞兵衛方御休
 殿様之重詰壺組差上ル、御次之二重
 差出ス、仍て御茶代千足被遣候

野口貞兵衛方御休

殿様之重詰壺組差上ル、御次之二重
 差出ス、仍て御茶代千足被遣候

十月廿日

一 殿様御上京、御供弘衛・軍八郎
佐平、御見立各務野迄寺院方
村役人、だり迄力次郎・宗助

廿日寅晴

一 殿様御上京、御供弘衛・軍八郎
佐平、御見立各務野迄寺院方
村役人、だり迄力次郎・宗助

一 殿様御上京、御供弘衛・軍八郎
佐平、御見立各務野迄寺院方
村役人、だり迄力次郎・宗助

十月廿一日

一 殿様御上京、御供弘衛・軍八郎
佐平、御見立各務野迄寺院方
村役人、だり迄力次郎・宗助

廿一日卯晴

一 垂井宿明七ツ時御出立、高宮宿え
八ツ時御着、摺張峠にて田島織部・同
鹿之助同道ニ相成、御同宿中村屋吉平
方ニ御泊り、多賀様之御参詣、御供
軍八郎・佐平、田島同断

編集後記

昭和五十五年度より『各務原市史』の編集事業がはじまりました。『各務原市史』（全八巻）も本年度をもって完成いたしました。この事業の一環として『各務原市資料調査報告書』の刊行を遂次企画し、昨年度までに第七号（在地の古文書史料目録四冊、美濃須衛古窯跡の分布調査報告書一冊、旗本の前渡坪内氏御用部屋記録二冊）までを公刊してきました。今回の『各務原市資料調査報告書』第八号は、旗本新加納坪内氏の内分家の一つであり、前渡村に居住していた坪内嘉兵衛昌寿が、東山道鎮撫総督の命により、倒幕のため出陣した折、付き随った坪内家用人の永井弘衛が「軍中日記」として書き留めたものを「戊辰戦争軍中日記」として活字化したものです。

「軍中日記」全文を写真版とし、それを同時に活字化して、古文書学習会の教材としても利用していただくことができるよう、構成いたしました。倒幕軍が中山道を下る様をおおまかに知るにもよい資料なので、大いに利用していただくことを願ってやみません。

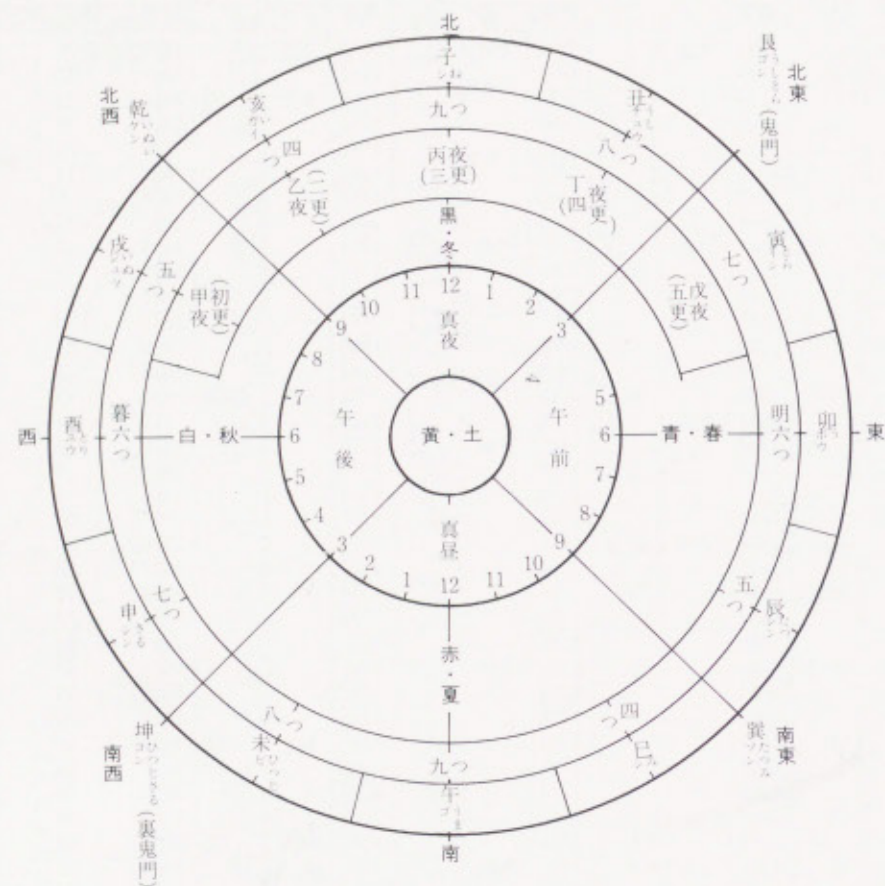
本資料調査報告書の発行に際し、資料所蔵者の永井好之氏のご理解・ご協力に深く感謝申し上げます。

昭和六十二年三月三十一日

社会教育課長

川 嶋 淳 右

方位・時刻表

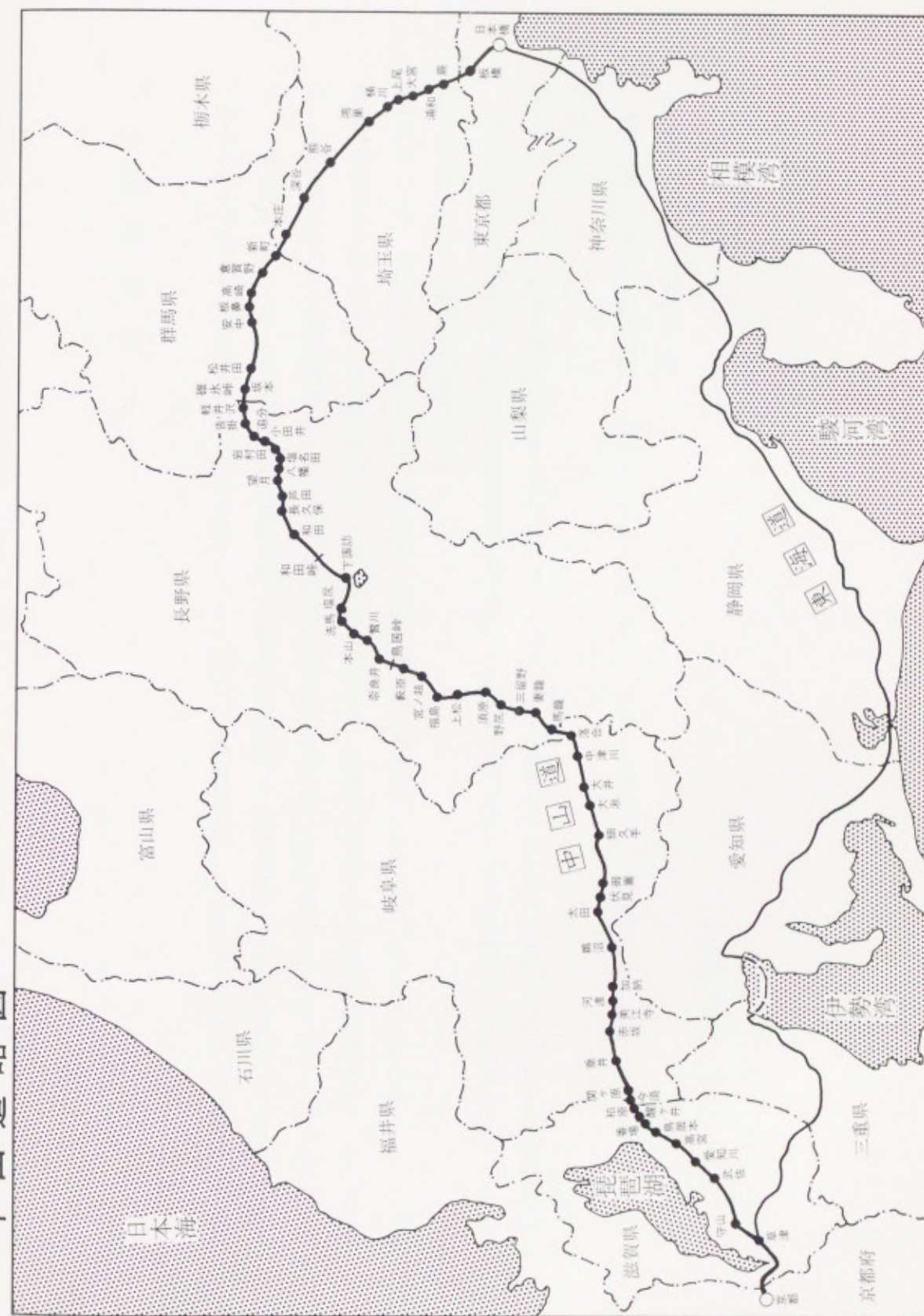


江戸時代の不定時法



江戸時代、民間で行われた時刻法は、不定時法といい、夜明けと日暮を境として昼と夜とをそれぞれ六等分したが、季節により変動があった。上記の表は、夏至(げし)・春分(秋分)・冬至(とうじ)の時刻を示したものである。

中山道図



干支早見表(1)

干支	年号(南朝)	年号(北朝)	西暦	年号	西暦	年号	西暦	年号	西暦	年号	西暦
丙子	延元 1 ②	建武 3	1336	応永 3	1396	康正 2	1456	永正 13	1516	天正 4	1576
丁丑	2	4	1337	4	1397	長祿 1 ⑨	1457	14 ⑩	1517	5 ⑦	1577
戊寅	3 ⑦	曆応 1 ⑧	1338	5 ④	1398	2 ①	1458	15	1518	6	1578
己卯	4	2	1339	6	1399	3	1459	16	1519	7	1579
庚辰	奥国 1 ④	3	1340	7	1400	寛正 1 ⑨ ⑫	1460	17 ⑥	1520	8 ③	1580
辛巳	2 ④	4	1341	8 ①	1401	2	1461	大永 1 ⑧	1521	9	1581
壬午	3	康永 1 ④	1342	9	1402	3	1462	2	1522	10	1582
癸未	4	2	1343	10 ⑩	1403	4 ⑥	1463	3 ③	1523	11 ①	1583
甲申	5 ②	3	1344	11	1404	5	1464	4	1524	12	1584
乙酉	6	貞和 1 ⑩	1345	12	1405	6	1465	5 ⑪	1525	13 ⑧	1585
丙戌	正平 1 ⑨ ⑫	2	1346	13 ⑥	1406	文正 1 ② ②	1466	6	1526	14	1586
丁亥	2	3	1347	14	1407	応仁 1 ③	1467	7	1527	15	1587
戊子	3	4	1348	15	1408	2 ⑩	1468	享祿 1 ⑨ ⑧	1528	16 ⑤	1588
己丑	4 ⑥	5	1349	16 ③	1409	文明 1 ④	1469	2	1529	17	1589
庚寅	5	觀応 1 ②	1350	17	1410	2	1470	3	1530	18	1590
辛卯	6	2	1351	18 ⑩	1411	3 ⑧	1471	4 ⑤	1531	19 ①	1591
壬辰	7 ②	文和 1 ⑨	1352	19	1412	4	1472	天文 1 ⑦	1532	文祿 1 ⑫	1592
癸巳	8	2	1353	20	1413	5	1473	2	1533	2 ⑨	1593
甲午	9 ⑩	3	1354	21 ⑦	1414	6 ⑤	1474	3 ①	1534	3	1594
乙未	10	4	1355	22	1415	7	1475	4	1535	4	1595
丙申	11	延文 1 ③	1356	23	1416	8	1476	5 ⑩	1536	慶長 1 ⑦ ⑩	1596
丁酉	12 ⑦	2	1357	24 ⑤	1417	9 ①	1477	6	1537	2	1597
戊戌	13	3	1358	25	1418	10	1478	7	1538	3	1598
己亥	14	4	1359	26	1419	11 ⑨	1479	8 ⑥	1539	4 ③	1599
庚子	15 ④	5	1360	27 ①	1420	12	1480	9	1540	5	1600
辛丑	16	康安 1 ③	1361	28	1421	13	1481	10	1541	6 ⑩	1601
壬寅	17	貞治 1 ⑨	1362	29 ⑩	1422	14 ⑦	1482	11 ③	1542	7	1602
癸卯	18 ①	2	1363	30	1423	15	1483	12	1543	8	1603
甲辰	19	3	1364	31	1424	16	1484	13 ⑪	1544	9 ⑧	1604
乙巳	20 ⑨	4	1365	32 ⑥	1425	17 ③	1485	14	1545	10	1605
丙午	21	5	1366	33	1426	18	1486	15	1546	11	1606
丁未	22	6	1367	34	1427	長享 1 ⑪ ⑦	1487	16 ⑦	1547	12 ④	1607
戊申	23 ⑥	応安 1 ②	1368	正長 1 ③ ④	1428	2	1488	17	1548	13	1608
己酉	24	2	1369	永享 1 ⑨	1429	延徳 1 ⑧	1489	18	1549	14	1609
庚戌	建徳 1 ⑦	3	1370	2 ⑪	1430	2 ⑧	1490	19 ⑤	1550	15 ②	1610
辛亥	2 ③	4	1371	3	1431	3	1491	20	1551	16	1611
壬子	文中 1 ④	5	1372	4	1432	明徳 1 ⑦	1492	21	1552	17 ⑩	1612
癸丑	2 ⑩	6	1373	5 ⑦	1433	2 ④	1493	22 ①	1553	18	1613
甲寅	3	7	1374	6	1434	3	1494	23	1554	19	1614
乙卯	天授 1 ⑤	永和 1 ②	1375	7	1435	4	1495	弘治 1 ⑩ ⑩	1555	元相 1 ⑥ ⑦	1615
丙辰	2 ⑦	2	1376	8 ⑤	1436	5 ②	1496	2	1556	2	1616
丁巳	3	3	1377	9	1437	6	1497	3	1557	3	1617
戊午	4	4	1378	10	1438	7 ⑩	1498	永祿 1 ⑥ ②	1558	4 ③	1618
己未	5 ④	康暦 1 ③	1379	11 ①	1439	8	1499	2	1559	5	1619
庚申	6	2	1380	12	1440	9	1500	3	1560	6 ⑩	1620
辛酉	弘和 1 ②	永徳 1 ②	1381	嘉吉 1 ⑨ ②	1441	文亀 1 ⑥ ②	1501	4 ③	1561	7	1621
壬戌	2 ①	2	1382	2	1442	2	1502	5	1562	8	1622
癸亥	3	3	1383	3	1443	3	1503	6 ⑩	1563	9 ⑧	1623
甲子	元中 1 ⑨ ④	至徳 1 ②	1384	文安 1 ⑥ ②	1444	永正 1 ③ ②	1504	7	1564	寛永 1 ②	1624
乙丑	2	2	1385	2	1445	2	1505	8	1565	2	1625
丙寅	3	3	1386	3	1446	3 ⑩	1506	9 ⑧	1566	3 ④	1626
丁卯	4 ⑤	嘉慶 1 ⑧	1387	4 ②	1447	4	1507	10	1567	4	1627
戊辰	5	2	1388	5	1448	5	1508	11	1568	5	1628
己巳	6	康応 1 ②	1389	宝徳 1 ⑩ ⑦	1449	6 ⑧	1509	12 ⑤	1569	6 ②	1629
庚午	7 ③	明德 1 ③	1390	2	1450	7	1510	元亀 1 ④	1570	7	1630
辛未	8	2	1391	3	1451	8	1511	2	1571	8 ⑩	1631
壬申	9 ⑩	3	1392	享徳 1 ⑧ ⑦	1452	9 ④	1512	3 ①	1572	9	1632
癸酉		4	1393	2	1453	10	1513	天正 1 ⑦	1573	10	1633
甲戌		応永 1 ⑦	1394	3	1454	11	1514	2 ⑩	1574	11 ⑦	1634
乙亥		2 ⑦	1395	康正 1 ④ ⑦	1455	12 ②	1515	3	1575	12	1635

○は閏月 □は改元月

干支早見表(2)

干支	年 号	西曆	年 号	西曆	年 号	西曆	年 号	西曆	年 号	西曆
丙子	寛永 13	1636	元禄 9	1696	宝暦 6 ⑪	1756	文化 13 ⑧	1816	明治 9	1876
丁丑	14 ③	1637	10 ②	1697	7	1757	14	1817	10	1877
戊寅	15	1638	11	1698	8	1758	文政 1 ④	1818	11	1878
己卯	16 ⑪	1639	12 ⑨	1699	9 ⑦	1759	2 ④	1819	12	1879
庚辰	17	1640	13	1700	10	1760	3	1820	13	1880
辛巳	18	1641	14	1701	11	1761	4	1821	14	1881
壬午	19 ⑨	1642	15 ⑧	1702	12 ④	1762	5 ①	1822	15	1882
癸未	20	1643	16	1703	13	1763	6	1823	16	1883
甲申	正保 1 ⑫	1644	宝永 1 ③	1704	明和 1 ⑫ ⑥	1764	7 ⑧	1824	17	1884
乙酉	2 ⑤	1645	2 ④	1705	2	1765	8	1825	18	1885
丙戌	3	1646	3	1706	3	1766	9	1826	19	1886
丁亥	4	1647	4	1707	4 ⑨	1767	10 ⑥	1827	20	1887
戊子	慶安 1 ① ②	1648	5 ①	1708	5	1768	11	1828	21	1888
己丑	2	1649	6	1709	6	1769	12	1829	22	1889
庚寅	3 ⑩	1650	7 ⑧	1710	7 ⑥	1770	天保 1 ③ ⑫	1830	23	1890
辛卯	4	1651	正徳 1 ④	1711	8	1771	2	1831	24	1891
壬辰	承応 1 ⑨	1652	2	1712	安永 1 ⑪	1772	3 ①	1832	25	1892
癸巳	2 ⑥	1653	3 ⑤	1713	2 ③	1773	4	1833	26	1893
甲午	3	1654	4	1714	3	1774	5	1834	27	1894
乙未	明暦 1 ④	1655	5	1715	4 ⑫	1775	6 ⑦	1835	28	1895
丙申	2 ④	1656	享保 1 ② ⑥	1716	5	1776	7	1836	29	1896
丁酉	3	1657	2	1717	6	1777	8	1837	30	1897
戊戌	万治 1 ⑫ ⑦	1658	3 ⑩	1718	7 ⑦	1778	9 ④	1838	31	1898
己亥	2	1659	4	1719	8	1779	10	1839	32	1899
庚子	3	1660	5	1720	9	1780	11	1840	33	1900
辛丑	寛文 1 ⑧ ④	1661	6 ⑦	1721	天明 1 ⑤ ④	1781	12 ①	1841	34	1901
壬寅	2	1662	7	1722	2	1782	13	1842	35	1902
癸卯	3	1663	8	1723	3	1783	14 ⑨	1843	36	1903
甲辰	4 ⑤	1664	9 ④	1724	4 ①	1784	弘化 1 ⑫	1844	37	1904
乙巳	5	1665	10	1725	5	1785	2	1845	38	1905
丙午	6	1666	11	1726	6 ⑩	1786	3 ⑤	1846	39	1906
丁未	7 ②	1667	12 ①	1727	7	1787	4	1847	40	1907
戊申	8	1668	13	1728	8	1788	嘉永 1 ②	1848	41	1908
己酉	9 ⑩	1669	14 ⑨	1729	寛政 1 ⑥ ①	1789	2 ④	1849	42	1909
庚戌	10	1670	15	1730	2	1790	3	1850	43	1910
辛亥	11	1671	16	1731	3	1791	4	1851	44	1911
壬子	12 ⑥	1672	17 ⑤	1732	4 ②	1792	5 ②	1852	大正 1 ⑦	1912
癸丑	延宝 1 ⑨	1673	18	1733	5	1793	6	1853	2	1913
甲寅	2	1674	19	1734	6 ⑪	1794	安政 1 ⑦ ⑪	1854	3	1914
乙卯	3 ④	1675	20 ③	1735	7	1795	2	1855	4	1915
丙辰	4	1676	元文 1 ④	1736	8	1796	3	1856	5	1916
丁巳	5 ⑫	1677	2 ⑪	1737	9 ⑦	1797	4 ⑤	1857	6	1917
戊午	6	1678	3	1738	10	1798	5	1858	7	1918
己未	7	1679	4	1739	11	1799	6	1859	8	1919
庚申	8 ⑧	1680	5 ⑦	1740	12 ④	1800	万延 1 ③ ③	1860	9	1920
辛酉	天和 1 ⑨	1681	寛保 1 ②	1741	享和 1 ②	1801	文久 1 ②	1861	10	1921
壬戌	2	1682	2	1742	2	1802	2 ⑧	1862	11	1922
癸亥	3 ⑤	1683	3 ④	1743	3 ①	1803	3	1863	12	1923
甲子	貞享 1 ②	1684	延享 1 ②	1744	文化 1 ②	1804	元治 1 ②	1864	13	1924
乙丑	2	1685	2 ⑫	1745	2 ⑧	1805	慶応 1 ⑤ ④	1865	14	1925
丙寅	3 ③	1686	3	1746	3	1806	2	1866	昭和 1 ⑫	1926
丁卯	4	1687	4	1747	4	1807	3	1867	2	1927
戊辰	元禄 1 ⑨	1688	寛延 1 ⑩ ⑦	1748	5 ⑥	1808	明治 1 ④ ⑨	1868	3	1928
己巳	2 ①	1689	2	1749	6	1809	2	1869	4	1929
庚午	3	1690	3	1750	7	1810	3 ⑩	1870	5	1930
辛未	4 ⑧	1691	宝暦 1 ⑥ ⑩	1751	8 ②	1811	4	1871	6	1931
壬申	5	1692	2	1752	9	1812	5	1872	7	1932
癸酉	6	1693	3	1753	10 ⑪	1813	6	1873	8	1933
甲戌	7 ⑤	1694	4 ②	1754	11	1814	7	1874	9	1934
乙亥	8	1695	5	1755	12	1815	8	1875	10	1935

各務原市資料調査報告書第八号

戊辰戦争軍中日記

昭和六十二年三月三十一日

編集発刊◎ 各務原市教育委員会

各務原市那加桜町一丁目六九番地

☎(〇五八三)八三一―一一(内)七三六

振替 名古屋五―七三一 各務原市

印刷 第一法規出版(株)

東海支社

名古屋市東区泉一丁目一番三九号

各務原市図書館
210002416